



## 山神 健志 (やまがみ たけし)

1973年生まれ。自由学園最高学部卒業、東京藝術大学卒業後イタリアに留学。帰国後、合唱指揮者として活動を開始。郡司 博氏のアシスタントとして数々の公演に関わり成功に導く。現在は、児童合唱から大規模な混声合唱まで多くの合唱団の常任指揮者をつとめるほか、各地で市民参加による公募合唱団を指導。また、オーケストラと歌う素晴らしさを子どもから大人まで広く体験してもらおうと精力的に活動し、これまでにジョン・ラター「子どもたちのミサ」(オーケストラ版日本初演)、上田真樹「あらしのよるに」(オーケストラ版委嘱初演)を、はじめ、多くのコンサートを企画・指揮している。オーケストラ指揮の分野でも特に宗教音楽での評価が高い。2006年より楽友三田会合唱団を指導・指揮している。

## 坂井田 真実子 (さかいだ まみこ) ソプラノ

自由学園高等科卒業後、国立音楽大学声楽科卒業、同大学院オペラ専修修了。二期会オペラ研修所修了、修了時に優秀賞、奨励賞受賞。ロータリー財団奨学生として渡伊。ソレイユ音楽コンクール2位および優秀賞受賞。伊・セギッツィ国際ソリストコンクール聴衆賞(2位)受賞。伊・ボルデノーネ国際宗教音楽祭のソリストに抜擢。オペラやコンサートのソリストとして国内外で活躍中。二期会会員。平成25年度 文化庁新進芸術家在外派遣員としてウィーンへ留学。楽友三田会合唱団の定期演奏会では、これまでにシューベルト「ミサ曲第6番」、モーツァルト「戴冠ミサ」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」のソリストをつとめる。

## 藤田 まり子 (ふじた まりこ) ピアノ

桐朋女子高等学校音楽科より桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ科卒業。少年少女、女声、混声合唱団の伴奏者として活動。大学在学中には楽友三田会合唱団の第1回、第2回定期演奏会の伴奏ピアニストをつとめる。児童・親子向けの読み聞かせライブコンサートやPTA、シニア向け講座講師、連弾、2台ピアノ、ラテントリオ等でも活動中。現在は楽友三田会合唱団ピアニスト、楽友三田会OSF男声合唱団ピアニスト。

## 小林 亜星 (こばやし あせい)

作詞・作曲・編曲家。1955年慶應義塾大学経済学部卒業。作曲を服部 正氏に師事。CMソング「レナウン・ワンサカ娘」「イエイエ」でCM界の第一人者となって、以来、次々とヒット作品を生む。1972年「ピンポンパン体操」でレコード大賞童謡賞を受賞。1974年には連続TVドラマ「寺内貫太郎一家」に主演。作曲家・タレントの両面活動の中で、古賀賞、中山晋平賞、ギャラクシー賞を受賞。1976年には「北の宿から」(歌：都はるみ)で日本レコード大賞を受賞。今回、指揮をする「青春讃歌」は慶應高校時代の恩師 岡田忠彦氏から、歌で時代を繋ぐという示唆を受けて生まれた作品で1975年に初演。以来、慶應義塾大学混声合唱団楽友会で共通のレパートリーとして愛唱され歌い継がれてきている。今回のために新しく編曲された伴奏版で演奏する。

## 藤井 大輔 (ふじい だいすけ) バリトン

明治大学商学部、東京藝術大学声楽科卒業。宗教曲を中心に活動しており、バッハ「ミサ曲 ロ短調」「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」「ミサ曲 ハ短調」、ベートーヴェン「第九」、フォーレ「レクイエム」などのソリストをつとめる。また、バッハ・コレギウム・ジャパンの定期公演、録音、海外ツアーなど国内外の公演にも参加している。慶應義塾志木高校非常勤講師。楽友三田会合唱団の第21回定期演奏会(2013年)ではバッハ「小ミサ へ長調」のソリストをつとめる。2014年より同合唱団のヴォイストレーナー。

## 東京フォルトゥーナ室内管弦楽団

2007年より桐朋学園大学、東京藝術大学出身の弦楽器奏者が中心となって結成。弦楽五部とチェンバロによるイタリアンバロックや、弦楽六〜八重奏、室内管弦楽などさまざまな編成で定期演奏会や合唱団と共演。ハーモニーを感じた緻密なアンサンブルに自由に生き活きとした音楽づくりを目指している。楽友三田会合唱団とは、昨年の定期演奏会でのグノー「聖チェチーリアのための荘厳ミサ」に続いての共演である。